

秋田県鹿角市DMO体験プロジェクト

プログラム概要：7月下旬から8月初めに事前学習を行った後、8月中旬に秋田県鹿角市を訪問、3か所の宿泊施設での実習と本物の宿泊プランの立案のほか、道の駅あんとらあでの誘客促進プランを実行。事後学修で取りまとめた内容を9月下旬の成果報告会で発表

実習先：鹿角市・道の駅あんとらあ・ホテル鹿角・感動鹿角パークホテル・MINPAKU AMBO

実習先情報：鹿角市は豊富な自然や数々の歴史・文化（4つの世界遺産・ユネスコ文化遺産）を中心にPRを行っている魅力あふれる地域。

参加人数：11人

学部学科：経営学科、データサイエンス学科、人間科学科、社会福祉学科、経済学科、法律学科、看護学科

実習期間：令和5年度8月14日～8月25日

本学担当教員：鈴木純一教授（経営学部会計ガバナンス学科）

○はじめに

私たちは今回のFS秋田県鹿角市DMO体験プロジェクトを通して、鹿角市の行っている観光施策や町の取組みを身をもって学び、それを踏まえた上での自分たちの新たな企画の提案・実践に挑戦しました。

○実習内容

8月14日 鹿角市到着、鹿角市の皆さんと顔合わせ、両国旅館での宿泊開始

8月15日 鹿角市の観光名所（八幡平、同ビジターセンター、道の駅あんとらあ、尾去沢鉱山跡、道の駅おおゆ、大湯ストーンサークル、花輪スキー場ジャンプ台、十和田湖）見学

8月16日～18日 A班は道の駅あんとらあでの活動。B班は各宿泊施設にて企画立案実習を実施。鹿角市の魅力をより多くの人に知ってもらうためには何をすればよいか、そしてどのように発信すればよいかを考えた。夕食後は、花輪ばやしの太鼓練習

8月19,20日 花輪ばやしに参加

8月22,23日 A班とB班が場所を交代して活動を継続

9月15日 オンライン成果報告会を開催

○提案したこと、発信したこと

- ・あんとらあにおける販売促進策の実施(ポップ及びポスターのデザイン・制作、掲示)及び提案（紙袋、きりたんぽのテイクアウト用ポスター、直売所と土産屋の案内のデザイン、あんとらあを利用したプラン作成）
- ・鹿角市冬季企画の提案（カラスノーキャンドルの発案、鹿角ビンゴの企画構成、雪玉シューティング&ストラックアウト）
- ・各宿泊施設の宿泊プラン（ホテル鹿角）、ハロウィンイベント（感動鹿角パークホテル）の企画立案

○経験したこと、学んだこと、など

約2週間の鹿角FS中、鹿角市の様々な文化や魅力に触れることができました。特に印象的だった事は花輪ばやしへの参加です。3日間のみのお太鼓練習でしたが、町の方々はとても優しく私たちを迎え入れてくださいました。ユネスコ文化遺産にも選ばれている大規模で伝統のあるお祭りに実際に参加することで、鹿角市やお祭りの雰囲気や写真や資料を見るのとは比べものにならないほど肌で実感することができました。鹿角市の魅力を体感し、一生忘れられない思い出となりました。

今回のFSを通して、鹿角市の魅力をたくさん知ることができました。様々なことを学ばせてくださった鹿角市の職員の方々、あんとらあの方々、宿泊施設の方々、地元の方々には感謝してもし尽くせません。本当にこのような貴重な体験をありがとうございました。

○今後の展開、今後の学び、など

冬に向けた企画などもあるため、引き続き、現地の方々や生徒同士での連携をしっかりとった上で実現を目指します。また、長期休暇の際には鹿角市で街の人々と交流するなどして、実習で得た

繋がりを今後も継続していきたいです。

○まとめ

限られた実習期間中に、学校では教えてもらえないようなものの考え方や、人との関わり方など多くの事を会得できたのではないかと感じています。今回学んだことを今後の人生においても大切にしていきたいです。

○担当教員コメント

参加した皆さんは、全員が鹿角市に対する熱い思いを持ち続け、持てる力を十二分に発揮できたと思います。現地で予定していた成果報告会が東京からのオンライン開催に変更されても、持ち前のチームワークの良さを発揮し、互いに助け合いながら取り纏め作業を続けていました。

FSを通じて、明るく礼儀正しく、規律正しく生活しており、非常に素晴らしいメンバーでした。

○実習先コメント

鹿角に最も多くの人が集まる時期に、その最前線で活動いただいた皆さんは、鹿角が持つあらゆるエネルギーに触れることができたのではないのでしょうか。観光資源の魅力だけでなく、祭りに対する人々の情熱や帰省から見える若者のふるさと愛、そして、お節介と言わんばかりのおもてなし精神など、市民一人ひとりの心がこのまちのエネルギーとなっています。皆さんはその心に寄り添いながら、まちの発展に向け自分たちにできることは何かを常に問い続けてくれました。皆さんの真剣な取組に感謝するとともに、今後も鹿角で得た繋がりを糧に、地域活性化に力を発揮できる人材へと成長されることを願っています。

